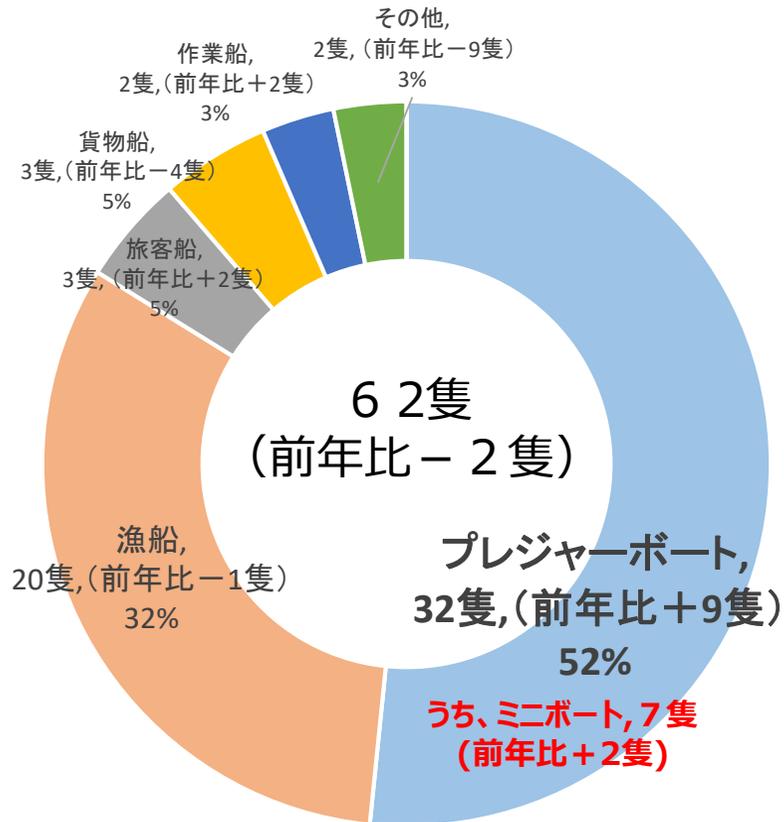


船舶事故発生状況

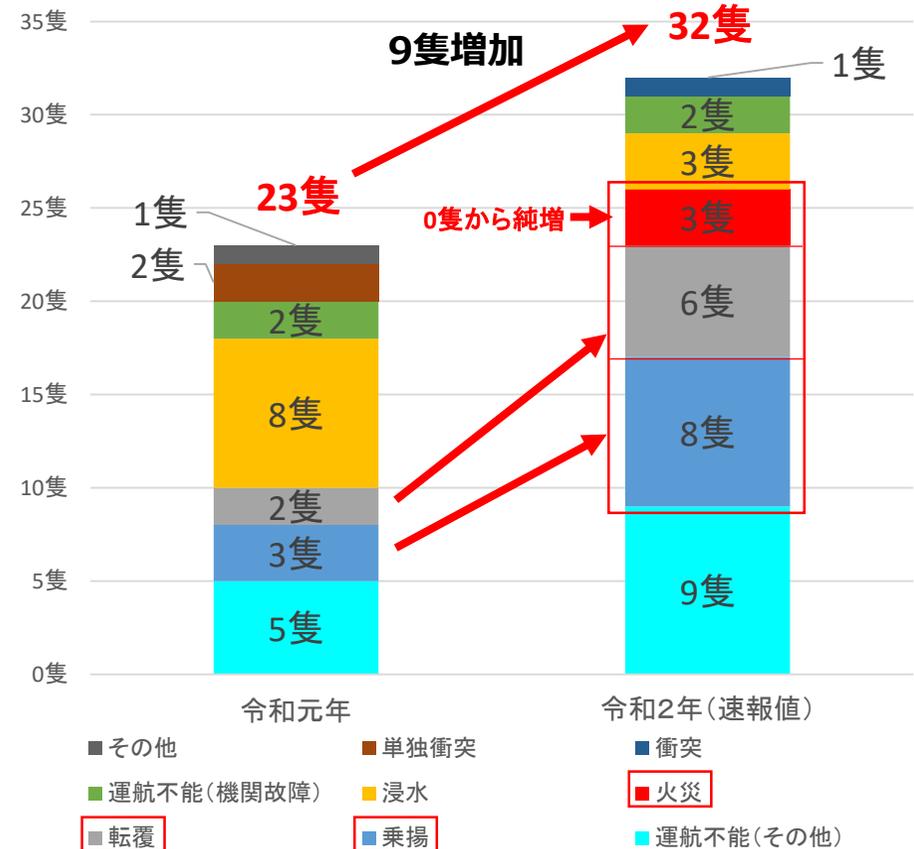
船舶事故発生状況

- ▶ 船舶事故隻数 : 62隻 (前年比2隻減)
- ▶ プレジャーボートの事故隻数が32隻 (前年比9隻増)
- ▶ プレジャーボートの乗揚8隻 (前年比5隻増)、転覆6隻 (前年比4隻増)、火災3隻 (前年比3隻増)

船舶種類別



プレジャーボートの海難発生状況



乗揚の船舶事故

年月日 令和2年6月23日

場所 沖縄県宮古島市八重干瀬沖

事故船舶 プレジャーボート 2人乗り

概要

該船は釣りをする場所の移動のため航行中、浅瀬に乗り揚げたもの。その後該船は離礁し、僚船伴走の下、帰港した。

場所



事故船舶

浸水・転覆の船舶事故

年月日 令和2年9月30日

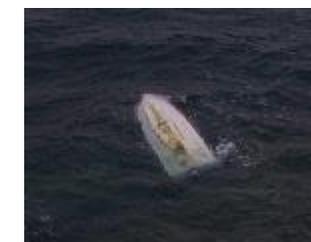
場所 沖縄県南城市沖

事故船舶 プレジャーボート 4人乗り

概要

該船は、帰港中に追い波をかぶった際に船外機が停止し漂流状態にあったところ、横波を受けて転覆したもの。

乗船者4人は海中に転落し、うち1人は病院へ搬送中に死亡が確認された。



事故船舶

転覆の船舶事故

年月日 令和2年5月12日

場所 沖縄県読谷村残波岬沖

事故船舶 プレジャーボート（ミニボート） 2人乗り

概要

該船は、釣りのため沖へ航行中に横波を受け、転覆し、沈没したもの。

乗船者は海中の岩場に足をつけているところを関係機関により救助された。

場所



イメージ（ミニボート）

火災の船舶事故

年月日 令和2年3月17日

場所 沖縄県石垣市黒島沖

事故船舶 プレジャーボート 9人乗り

概要

該船は、ダイビングスポット向け航行中にエンジンから出火したもの。

火が燃え広がる前に乗船者は全員付近の船舶に移乗し、当庁巡視船により、火は消し止められたが、その後沈没した。

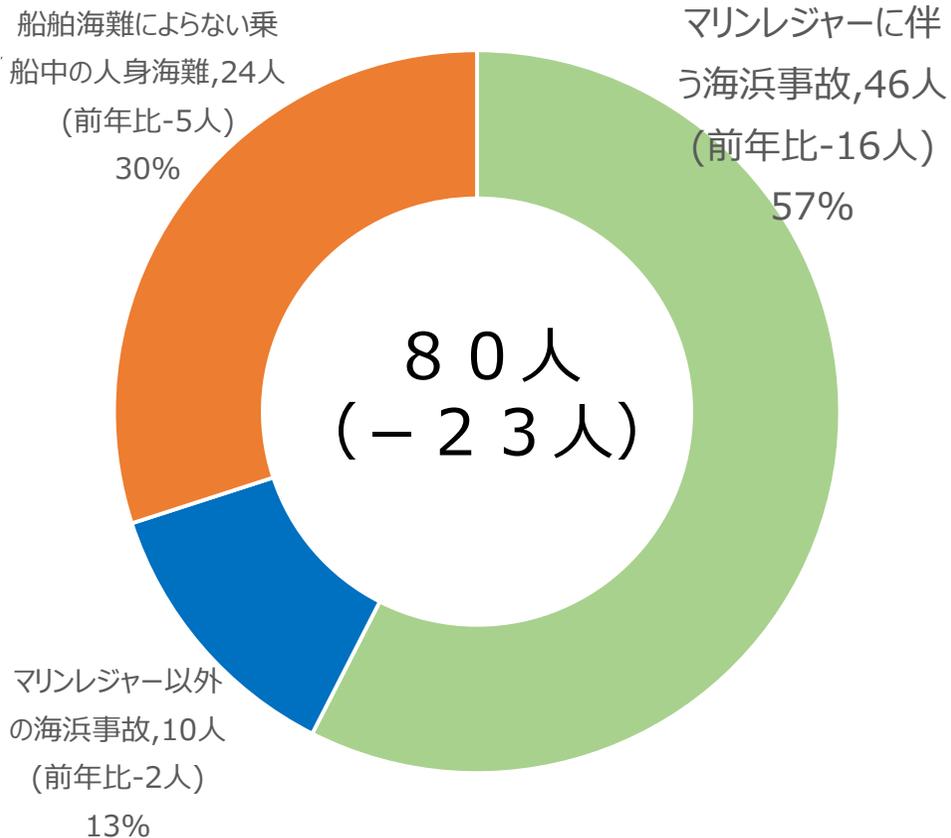


事故船舶

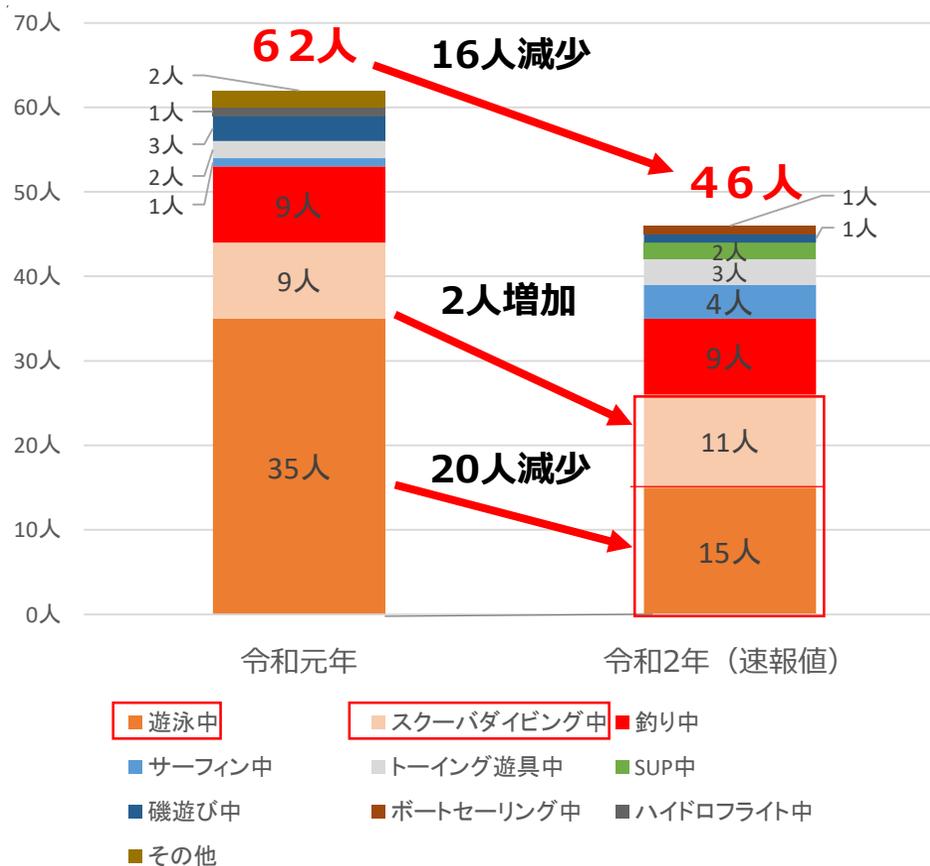
人身事故発生状況

- 人身事故者数 : 80人 (前年比23人減)
- マリンレジャーに伴う海浜事故の事故者数が46人 (前年比16人減)
- 遊泳中の事故者が15人 (前年比20人減)
- ダイビング中の事故者が11人 (前年比2人増)

事故区分別



マリンレジャーに伴う海浜事故 活動内容別



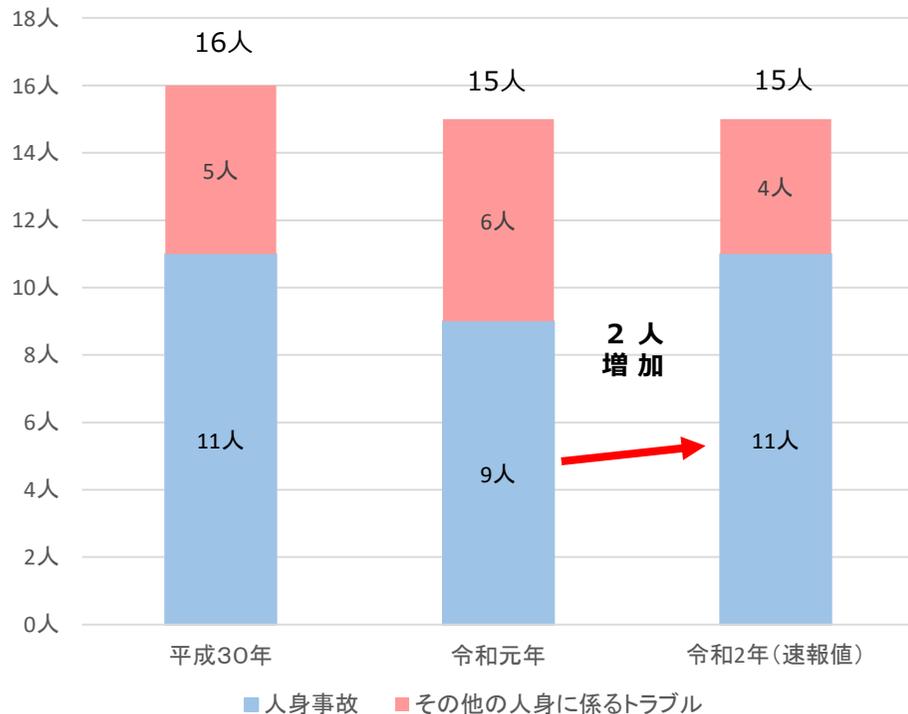
ダイビング中の人身海難発生状況

ダイビング中の人身海難発生状況

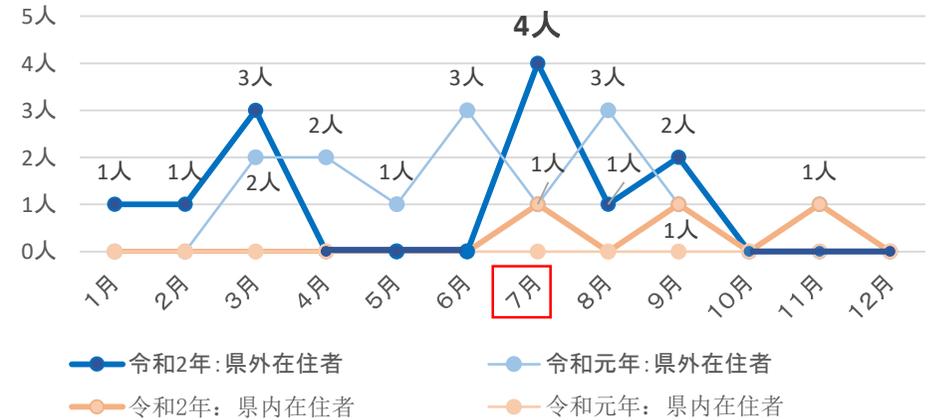
- ▶ ダイビング中の人身海難者数：15人（前年比同数）
- ▶ ダイビング中の人身事故11人（前年比2人増）、その他の人身に係るトラブル4人（前年比2人減）
- ▶ 7月以降は県外からのダイビング客の増加が影響したと史料
- ▶ ダイビング中の事故者のうち、県外在住者が12人と事故全体の8割

発生状況詳細

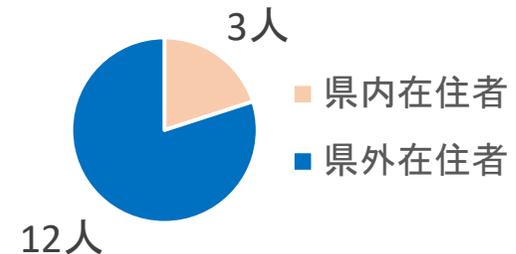
【過去3年 ダイビング中の人身海難発生状況】



【ダイビング中の人身海難 月別発生状況特徴】



【ダイビング中の人身海難 居住地別】



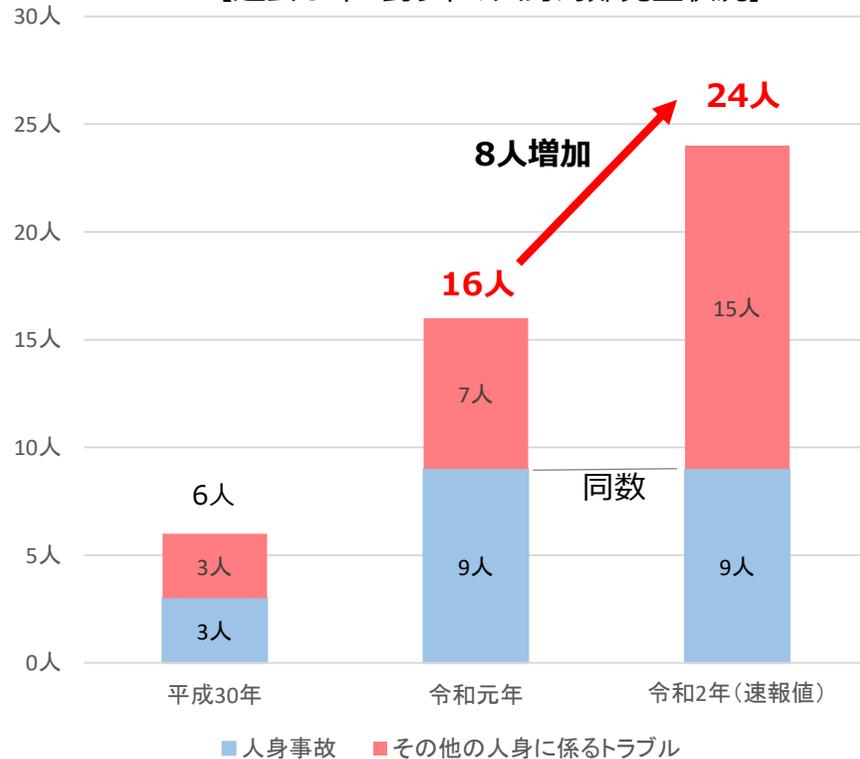
釣り中の人身海難発生状況

釣り中の人身海難発生状況

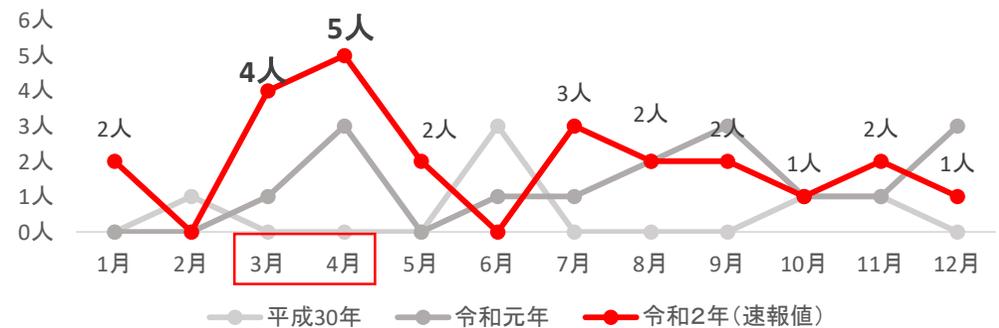
- 釣り中の人身海難者数：24人（前年比8人増）
- 釣り中の人身事故9人（前年比同数）、その他の人身に係るトラブル15人（前年比8人増）
- 3月から4月にかけて事故の発生が顕著
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大を受け、3密回避のため屋外レジャー活動が増加したことが要因と史料
- 帰還不能（孤立等により、陸岸に戻れなくなったもの）が急増

発生状況詳細

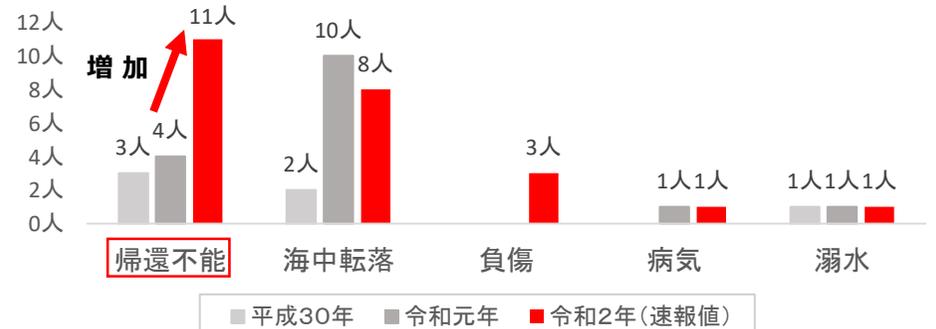
【過去3年 釣り中の人身海難発生状況】



【釣り中の人身海難 月別発生状況特徴】



【釣り中の事故内容別発生状況】



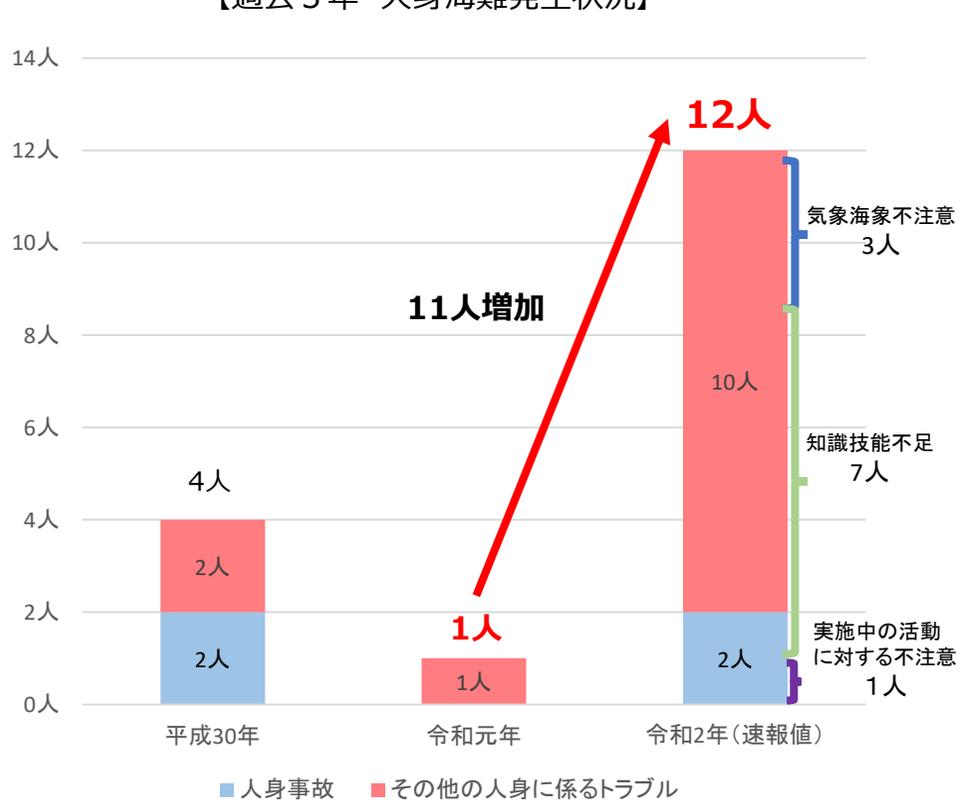
SUP中の人身海難発生状況

SUP中の人身海難発生状況

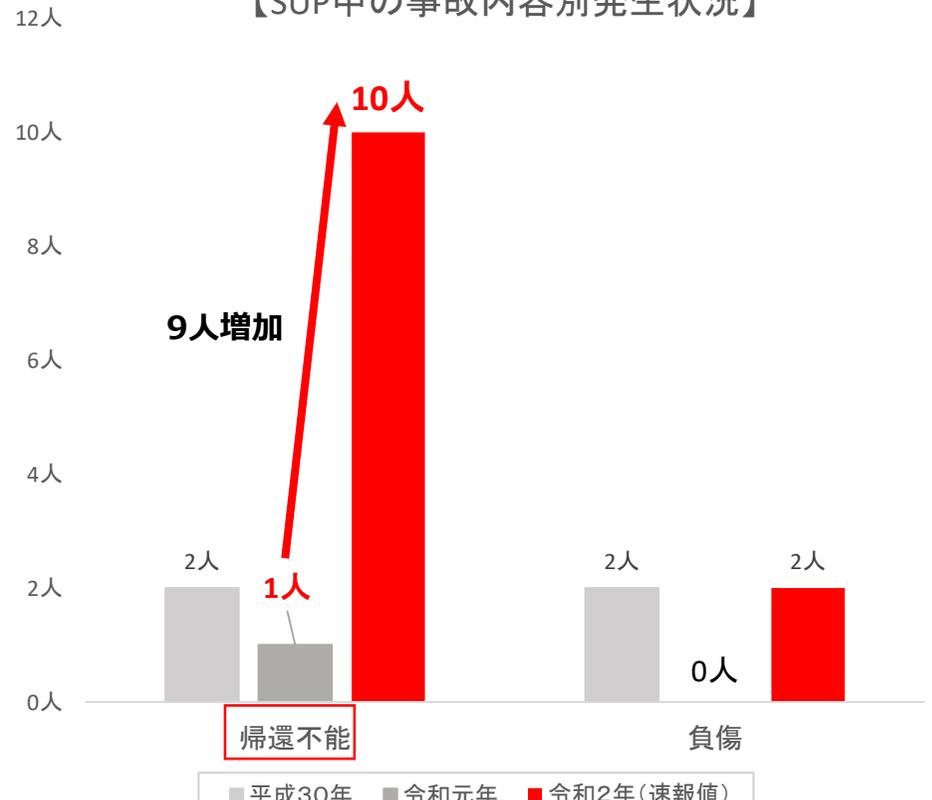
- SUP中の人身海難者数：12人（前年比11人増）
- SUP中の人身事故2人（前年比2人増）、その他の人身に係るトラブル10人（前年比9人増）
- 気象等に係る知識不足や不注意が主な原因 ⇒ 気象状況によっては、人身事故（死傷）に至る恐れ
- 新型コロナウイルス感染拡大を受け、3密回避のため屋外レジャー活動が増加したことが要因と思料
- 帰還不能（孤立等により、陸岸に戻れなくなったもの）が急増

発生状況詳細

【過去3年 人身海難発生状況】



【SUP中の事故内容別発生状況】



遊泳中の人身事故

年月日 令和2年9月8日

場所 沖縄県石垣市所在
崎枝沖

事故者 50代 男性

概要

事故者は石垣市崎枝の海岸に訪れ、遊泳目的で入水したが、離岸流によって流された。その後付近海上に浮いているところを発見され、医師により死亡が確認された。



ダイビング中の人身事故

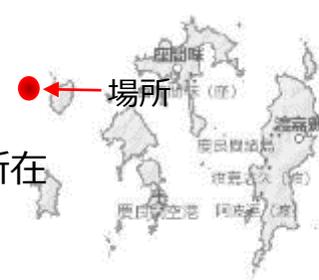
年月日 令和2年7月28日

場所 沖縄県渡嘉敷列島所在
座間味島沖付近

事故者 70代 男性

概要

事故者は座間味島沖にツアーの客として訪れ、ダイビングを行っていたが、ダイビングポイント「タカチンシ」付近で行方不明になったもの。その後海底で発見され医師により死亡が確認された。



釣り中のその他の人身に係るトラブル

年月日 令和2年8月9日

場所 沖縄県恩納村所在
万座毛付近沖合の磯場

事故者 30代 男性 / 30代 男性

概要

事故者は恩納村万座毛付近沖合の磯場にミニボートにて渡り、釣りを実施していたが、天候が悪化して自力帰還できなくなったもの。その後関係機関により全員救助された。



SUP中のその他の人身に係るトラブル

年月日 令和2年11月28日

場所 沖縄県金武町所在
渡慶頭ビーチ

事故者 30代 男性 / 30代 男性 / 10歳以下 男性

概要

事故者は金城町渡慶頭ビーチを訪れ、SUPにて遊走していたが、沖合に流され、陸岸に戻れなくなったもの。その後当庁航空機及び関係機関により全員救助された。



【過去5年間の海難発生推移】

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年 (速報値)
船 舶	海 難 隻 数 (隻)	82人	60人	66人	81人	84人
	死者・行方不明者数 (人)	8人	10人	1人	2人	4人
人 身	海 難 者 数 (人)	220人	200人	210人	183人	187人
	死者・行方不明者数 (人)	73人	62人	63人	49人	63人

【過去5年間のマリンレジャーに伴う海難発生推移】

人 身	マリンレジャーに伴う海難者数 (人)	111人	98人	89人	103人	94人
	死者・行方不明者数 (人)	30人	18人	19人	30人	23人

※平成29年までの計上方法は民間救助機関のみによる救助を除いています。

※平成30年から、より効果的な海難防止対策を講じるため、船舶の運航に関連した損害や具体的な危険が生じたものを「船舶事故(アクシデント)」、これらが生じていないものを「インシデント」、海上又は海中における活動中に死傷者が発生した事故を「人身事故」(自殺、病気等を除く)、これらが生じていないものを「その他の人身に係るトラブル」と定義し、「船舶事故(アクシデント)」・「人身事故」に対策を重点化しています。

また、船舶事故(アクシデント)については、民間救助機関のみにより救助された事故隻数も計上することとしています。ただし、第十一管区海上保安本部管内では、民間救助機関が存在しないことから、令和2年においては、これによる救助隻数はありません。